

つねに時代の先へ新技術と新発想でお応えいたします!

e-pile next

浅草 雷門ホテル

狭小計画地でも抜群の貫入性能により深層施工を実現

本物件は、浅草のシンボルとして国内外の人々に親しまれている雷門に隣接した、ホテルの新築工事です。
 周辺は商業地域のため、限られた搬入経路と敷地条件の他、支持地盤も設計GL-34.4mと深いことから、小規模施工と確実な貫入性能が課題となりました。
 様々な工法と比較いただいた結果、特に杭先端形状の強靱な高力構造と菱形切削削りによる高い貫入性能、また深層施工による数多くの実績を高く評価いただき採用となりました。実施工におきましても全て予定深度まで貫入することができ、安心いただける施工品質をご提供することができました。
 ご請け様には、搬入誘導、養生鉄板敷設等ご協力いただき安全に工事を完了することが出来ました。

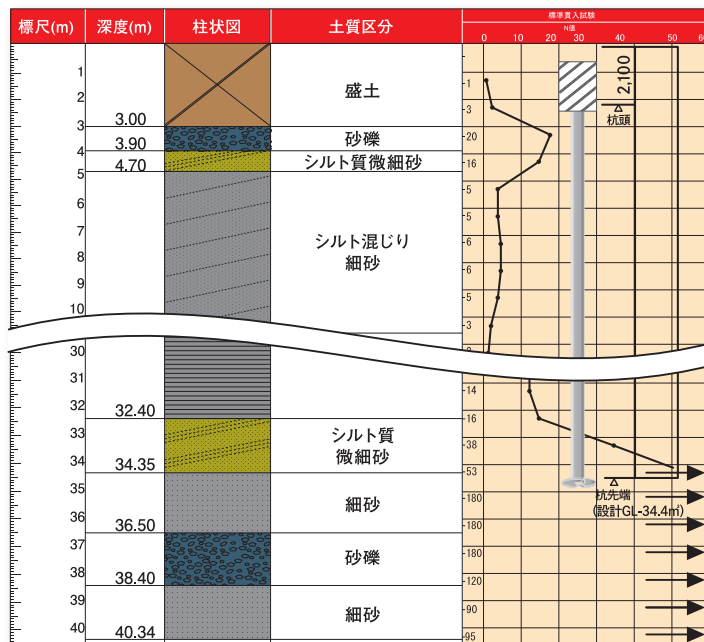
ご採用いただきまして、誠にありがとうございました。



工事概要

工事名	浅草雷門 ホテル 新築工事	杭 径	φ355.6 mm
施工地	東京都台東区浅草	拡翼径	Dw750 mm・Dw700 mm
用途	旅館・飲食店	拡頭径	-
構造	鉄骨造(S) 地上7階	深度	SGL-34.4m
建築面積	996.9 m ²	支持力	1229kN・1105kN
工期	2018年7月17日~2018年8月2日	本 数	13本・8本

ボーリング柱状図



e-pile next

国土交通省大臣認定工法

公共土木・公共建築での活用拡大
 国土交通省「NETIS」

登録番号：KT-160071-A

- 国土交通大臣認定
TACP-0483 砂質地盤(礫質地盤含む)
TACP-0484 粘土質地盤
- 日本建築センター
BCJ評定-FD0540-01 砂質地盤
BCJ評定-FD0541-01 礫質地盤
BCJ評定-FD0542-01 粘土質地盤
- 基礎評定(引抜支持力)
砂質地盤
礫質地盤
粘土質地盤
- 日本環境協会
エコマーク認定 08 131022号

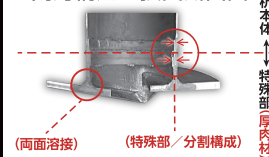
全ての鍵は杭先端にあり

全ての鍵は杭先端にあり

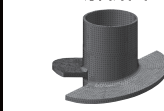
杭基礎は建物荷重を支持地盤へ伝達させる最も重要な役割であり、故に、杭先端拡翼部の貫入(掘削)性、変位・変形・破断などを発生させない高い性能が要求されます。

- 貫入性の問題を・・・「**菱形穴**」により解決しました。
- 拡翼変形の問題を・・・「**特殊部**」により解決しました。
- コストの問題を・・・「**自社施工**」により解決しました。

高力構造 / 拡翼断面図



FEM解析図



建築・土木・鉄道、さまざまな場面で活躍しております。

Tobu 株式会社 東部

<http://e-pile.com>

■ 本社
 〒252-0134
 神奈川県相模原市緑区下九沢1507-5
 TEL.042-762-4739 FAX.042-762-8971

■ 本店 / 経理室
 〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢1509-4
 TEL.042-764-4128 FAX.042-762-9593

■ 東京営業所
 〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷1-1-2
 朝日生命幡ヶ谷ビル6階
 TEL.03-3376-0123 FAX.03-3376-0124

■ 相模原機材センター
 〒252-0101 神奈川県相模原市緑区町屋1-4-37
 TEL.042-851-2681 FAX.042-851-2682



インフラメンテナンスの着実な実施に向け、緊急的に取り組む施策をとりまとめました!

国土交通省では、6月22日に開催した社会資本メンテナンス戦略小委員会における議論を踏まえ、インフラの老朽化に対し緊急的に取り組む施策(工程表)をとりまとめました。今後、本施策について着実に実施してまいります。

高度経済成長期に集中的に整備された社会資本(インフラ)の急速な老朽化の懸念から、社会資本の維持管理・更新は、国のみならず、社会資本の大部分を管理している地方公共団体を含めた我が国全体の大きな問題となっています。

国土交通省では、平成25年をメンテナンス政策元年(社会資本メンテナンス元年)と位置づけ、様々な取組を進めてまいりましたが、昨年12月に社会資本メンテナンス戦略小委員会(第3期)を立ち上げ、今後の取組の方向性等について議論してまいりました。

【緊急的に取り組む主な施策】

- | | |
|---------------------|---|
| 1. 点検・診断 | 効率的な点検・診断ができるよう点検基準・要領等を見直し |
| 2. 補修・修繕 | 年度内に分野別にLCCの考え方を提示し、地方自治体の維持管理・更新費の算出を支援 |
| 3. 集約・再編等 | 分野別にガイドライン、考え方、事例集等を作成、公表 |
| 4. メンテナンスサイクルの確立 | インフラの老朽化等の状況や取組、個別施設計画の主たる内容等を見える化。
年度内に、個別施設計画策定における留意事項を策定し、計画内容を標準化・充実化。国交省所管の将来の維持管理・更新費を推計。 |
| 5. メンテナンスサイクルの更なる発展 | メンテナンスサイクルの改善の方向性等今後5年間のロードマップを作成 |

社会資本メンテナンス戦略小委員会のこれまでの開催結果は、国土交通省HPに参照ください。

http://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/s201_menntenannsu01.html

ワンポイント 健康コラム

身体の内側・外側からクールダウン 残暑

夏が終わりに近づき残暑が厳しい9月…
毎日の食事、しっかりと摂れていますか?
睡眠はしっかりと取れていますか?
毎日疲れが取れず倦怠感がある…
なんてことはありませんか?そんな方にピッタリ!
残暑を少しの工夫で乗り切るとっておきの方法をお教えします!!



・唐辛子など辛いもの・熱いもの・刺激の強いものを食べる

暑いからと冷たいものばかり食べていませんか?
クールダウンの近道は汗をかくことなんです。
眠りに就きやすくなり、睡眠の質も良くなります。
そして、胃腸を刺激すると食欲が増進します。
食事時の飲み物を熱いものにしても○
カテキンは利尿作用を促進し、熱を下げる効果があるので
特に緑茶がオススメ!



・塩キウイスムージー

“食べる点滴”と言われている塩キウイ。
キウイフルーツには水分はもちろん、適度な糖、カリウム、
マグネシウム、カルシウムがバランスよく含まれています。
市販で売っている経口補水液よりも熱中症予防ができるのです!
○キウイフルーツ 1個
○塩 0.5g程度(2本の指でひとつまみ)
○水 100~150ml
ビニール袋に皮をむいたキウイフルーツ、塩を入れて袋の口を閉じ、
キウイフルーツをすりつぶすようにもみ、水を加えるだけ!



・温度と湿度の見直し

温湿度・音・光は睡眠に大きく影響します。
睡眠を妨げないよう、ベスト温湿度を作りましょう。
室温26~28℃ 湿度50~60%
※熱帯夜のタイマー設定は危険です、一晩中つけておくのが理想です。



・安眠のためには頭を冷やす

頭が冷えるとそれだけで涼しく感じるため、全身を冷やさなくても○
熱の時のおでこに貼るシートや、冷えるタイプの枕を使うのが効果的!
他にも、冷やしすぎない体の冷やし方は、
体感的に冷たく感じる布団や敷布団を使うのがいいでしょう。



夏が終わりに近づいたら次は残暑です。
残暑を乗り切るために、
是非試してみたいかがでしょうか。

経理マンが行く ビタミンD

今年の夏は熱波と言われるほど、暑い夏でした。

9月に入ってもまだこの余波は続きそうです。

同時に朝晩の気温の差が大きくなりますのでどうぞご自愛ください。

さて、最近では熱くて強い紫外線に気をつけて、日焼け止めに塗る方が増えていますが、この日焼け止めは最近になって海の汚染物質が含まれている事がわかり、世界各地の海では禁止になってきています。珊瑚を枯らす、魚が汚染するなどと言われ日焼け止めを販売しているメーカーでも配合物の見直しを始めました。日焼け止めはその名の通り「焼かない」為のものですが、これがあまり身体にも良くない事もわかり始めています。それは子ども達に多い「くる病」という病気です。

くる病とは、骨端線閉鎖前の子どもの骨の石灰化や成長がうまくいかず、骨が通常よりも柔らかくなってしま病気で、くる病になると、足が曲がって成長し重度のO脚になります。

また関節が膨らみ、1つ1つの肋骨の一部がコブのように膨らむ「肋骨念珠」となります。さらに 頭蓋骨を手で押すと凹むくらい柔らかくなってしま(頭蓋ろう)、筋肉痛や筋力低下が起こる、成長期でも身長や体重増加が止まる、歯がくすんだり虫歯になりやすくなったりする、などの症状を引き起こします。また、骨に痛みが生じる事もあり、そうなる運動を避けがちになり、筋力低下を引き起こします。難病指定を受けているビタミンD 抵抗性くる病においては特に、この症状がきっかけとなって寝たきりになってしまう怖い病気です。

ビタミンDの欠乏により「くる病」を発症している場合、不足しているビタミンDを補充するのですが、現在の日本では食物アレルギーに対して過剰な食事制限を行っている場合があり、その結果ビタミンD欠乏性くる病を引き起こすこともあります。

アレルギーの状態を適切に判断・評価し、不要な食事制限を避けることも大切ですがさらに、適度に日光に当たりビタミンDの体内生産を促すことも重要とされています。このようにビタミンDは太陽の光に当たって体内生産が出来るビタミンなのです。

くる病は子どもだけでなく、女性にも多く見られるようになりました。化粧品は今やほとんどがUVカット商品になり、さらに日焼け止めに塗るのですから、太陽の日差しは体内に入りづらく、日焼け止めも強力になっていることから、体内でビタミンDを生産するには難しいと言えるのかもしれない。女性は外出する際、全身UVカットをし、さらに日傘まで使っていればなおさらです。また、日光不足は「冬季うつ」と呼ばれる精神疾患にもなります。これも実はビタミンD不足とされていて、北海道の方が多いという報告があります。

くる病で有名なところで『アルプスの少女ハイジ』に出てくるクララ。このクララも「くる病」が原因で車椅子であったという説があります。当時のフランクフルトは工場の煙で日光が十分に届かず、くる病の子供が多かったそうで同時にヒステリーにもなっていました。スイスにあるハイジの家に行ったら歩けるようになった理由は、太陽の光を沢山浴びたお陰だったのですね。

ビタミンDは体内で貯蓄されて徐々に減少していきますから夏にどれだけ貯めこんでおくかも重要になります。くる病の原因はビタミンD不足ですのでサプリメントを上手に使うのもいいと思いますが、太陽の光を浴びるのも大切です。免疫力を上げると言われているビタミンDは花粉症による鼻炎にも効果があるようですので、積極的にとらえてはいかがでしょうか。